

朗読音源を使用した海上安全教室の進め方

第十管区海上保安本部交通部安全対策課

1 朗読音源の使用についての検討

朗読音源には、題名「あの日」、「ともだち」の2話ありますので、学びのポイント（別紙）をご参考に使用する音源を選択してください。

2 児童等に対する事前説明等

事前説明の前に別添ワークシートを配布してから、

- ・ 「今から海で事故に遭わないためにはどうすれば良いかということについて考えてみたいと思います」
- ・ 「これから、子どもが事故に遭ったお話を聞いてもらいますので、最後まで静かに聞いてください」

等の説明をお願いします。

3 朗読音源再生

1で選択した音源を聞かせます。

（各再生時間5分10秒）

4 グループ討議

(1) 児童等に対し、「このお話の中で注意すれば良かったこと、自分だったらこのようにするなどについて、みなさんと話し合ってみてください。」と投げかけてから、話し合いを始めてください。

(2) グループ代表者による意見発表

ワークシートには、児童等各自の意見及びグループの意見を記入

5 海上安全教室の学習のまとめ（振り返り）

学びのポイント（別紙）を基に振り返り学習を行ってください。

（各児童等には、まとめをワークシートに記入させてください。）

※ これで学校での海上安全教室型」は終了となります。本安全教室終了後に別添リーフレット事例「あの日、」またはリーフレット事例「ともだち」を配布してください。

6 児童等と保護者による話し合い（振り返り）

各児童等は、学校で記入したワークシートと事例を自宅に持ち帰り、事例について、話し合ってもらい、今後、保護者として注意すべきこと、子どもに対して注意していきたいことなどの意見を記入後、学校に提出（任意）してもらってください。

7 ワークシートを使用する効果及び活用

(1) ワークシートの記載内容から、児童等の安全意識レベルの確認、本安全教室に

おける理解度が読みとれ、保護者記入欄から、保護者の考え方も確認ができます。

また、ワークシートを持ち帰り、児童等と保護者が家庭内で事故防止について、話し合いの機会を持つことで、安全意識の向上に効果があります。

(2) 学校に提出されたワークシートから各児童等の安全意識レベルを知ることができ、学校での安全教育に利活用できます。

- 8 本朗読音源の使用例として別添「朗読音源を利用した海上安全教室の進行表(例)」を参考にしてください。

お問合せ先

〒890-8510

鹿児島県鹿児島市東郡元町 4-1 鹿児島第二地方合同庁舎 4F

第十管区海上保安本部交通部安全対策課安全対策第二係

TEL099-250-9800 FAX099-250-9839